

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス マイスペース		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日		2024年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日		2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 17名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・作業療法士、保育士、教員資格や強度行動障害実践研修終了、自閉症スペクトラムについての知識等、専門性を持った職員が対応している。	・職員間で月1～2回の研修や勉強会を行っている。 ・職員会議時はもちろんのこと、日々職員間での連携をしっかりとるようにしています。	・職員個人の積極的な研修参加を促し、更に知識を深めていきご利用者様主体の支援を行っていく。
2	・成人後の就労や生活介護に向けて、学校、相談支援事業所や地域事業所と連携し進めています。	・関係機関と連絡を密にとり連携しています。 ・生活リズムを整え、挨拶、礼儀を大切に、職員見守りの中自立支援をしっかりと行っていきます。	・スモールステップから始め、できた、嬉しい、という成功体験を積んでいただくように、職員共有して支援してまいります。
3	・送迎時や連絡帳、メール等のツールを使い、保護者との連携を深め、発達課題等について共通理解を持っている。	・送迎時の申し送りを重視するとともに、年2回の個人懇談、連絡帳、メール等の連絡ツールを充実させ連絡が取りやすい形をとっています。	・個人懇談については保護者の参加しやすい時間帯での開催を検討するなどしていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童間での他害行為による怪我がある。	・クールダウンする場所の確保。落ち着ける環境作り。	・児童同士の相性も考え、過ごす場所の確保。 ・パーテーションなども取り入れ落ち着ける場所の確保、公園活動等も取り入れ、活動内で工夫していく。
2	・アンケートでは「職員の配置数がわからない」との声がある。	・見学時には室内での職員と児童との関わりを見ていただいているが、実際ご利用を開始してから保護者が事業所内を見る機会があまりない。	・今よりさらに、ブログやHPでの発信、保護者へのご利用時の写真送付などを行い、どのように過ごしているか知っていただくとともに、事業所見学の機会を作り実際に過ごしている様子を見ていただくようにする。
3	・父母の会、保護者会の開催がない、との声がある。	・コロナやインフルエンザ等の感染症流行の影響があり、開催を見送っていた。	・感染症が落ち着きましたら開催を考えていきます。